

令和3年度 環境活動スタート事業

1 実施校

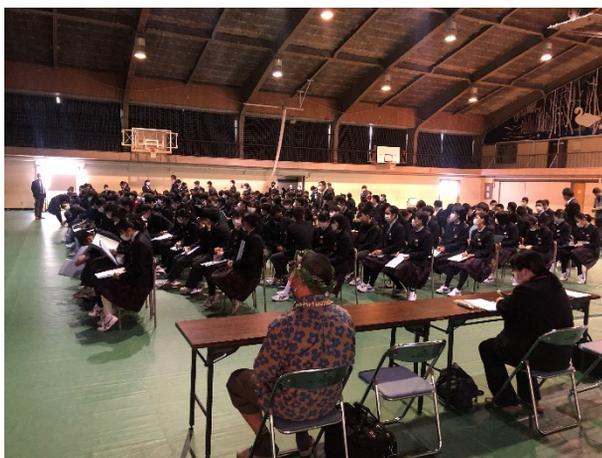
猪苗代町立猪苗代中学校（全学年）

2 実施日

令和3年11月8日（月曜日）

3 内容

「The Future We Want=私たちが望む未来=」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏による講演会を行いました。キリバスの歴史や現状、また、地球温暖化が及ぼす影響について、資料映像（VTR）や写真を交えながら分かりやすく説明しました。



4 講演を聞いての感想

キリバスについて様々なことが分かりました。地球温暖化についてあまり深く考えてこなかった自分でしたが、今回のお話を聞いて、1人ひとりが地球温暖化と向き合っていかなきゃいけないなとすごく思いました。自分も、環境にやさしい行動をとりたいと思いました。

今まで講話を聞いた中で、一番心に響いた話でした。特に心に残った話は、「気候変動は人間が引きおこしてしまったことだから私たちが解決しなければならない」というところです。この話を聞いて、私自身にできることは積極的に行おうと思いました。

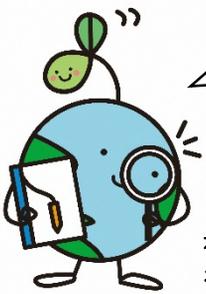
キリバスがこんなに大変な状態であることに驚きました。また、キリバスの海岸に日本のプラスチックゴミが流れ着いていることに申し訳がなかったです。今、私たちにはあまり影響が感じられないこともありますが、世界では大変な思い、悲しい思いをしている人たちがいることを考えながら地球温暖化の対策をしたいです。

最初は遠いことだと思ったが、世界はすべてつながっていて自分のした事もすべて関係していると分かり、自分も考えて行動しなきゃと思った。

二酸化炭素が増え、温暖化が進んで世界が危ないのは知っていたけど、心のどこかで『まだ大丈夫。別に私1人がやったって意味ない』と思ってしまってる自分がいました。しかし、今日の講演のおかげで、声をかけあいながらみんなでやれば良いと思えました。2050年、平和な地球でみんなが笑えるように。

キリバスという国の文化や特徴を聞いてとてもすばらしい国だということが分かりました。でも、一方そこで起こっている自然災害及び課題についてよく理解でき、自分達の身にもいつか起きてしまうじゃないかという危機感が持てて、とても自分の未来のためになる講演会でした。

すごくキリバスという国に興味を持ったし、地球温暖化にも興味を持った。キリバスは今、危機なんだと思った。キリバスとか南の国の島々がしずまないように、国民の命をうばわれないように、自分たちにもできることを見つけて実践してみようと思った。関係ないことだと思わないで、地球温暖化と向き合っていきたい。



福島県の環境保全の
キャラクター「エコたん」

講演を聞いて、自分にもできそうだったこと、やってみようと思ったことは何かな？また、それを実践してみてどう感じたかな？

- 食べ物を残さない
- ゴミはゴミ箱へ

食べ物は、ほとんど残さずに食べられた。ゴミもしっかり分別して捨てることができた。

自分でできることは、もっとあると思うので、これからも未来に向けて、やっていきたい。



- 歩いて登校

始めの方は、やっぱり面倒くさかったけど、歩くから家を早く出て、早く学校につくと、時間を有効に使えるようになりました。読書をしたり、勉強をしたり家でゲームをしているより楽しく感じました。



- 節電をする
- 水を大切に使う

今までよりも、少し水を出す量を少なくしたり、電気をこまめに消す、日頃から無理なくできる、毎日続けられる事をしています。なので、これからも続けたいです。



- プラスチックゴミを減らす
- エコバッグを使う

私は、なるべくプラスチック製品の物を使わず、エコバッグを買い物の時使うようにしました。するとビニール袋のゴミの量などが減り、地球温暖化の対策ができて良かったです。これからも続けていきたいです。



- プラスチックのリサイクル
- CO₂排出をなるべくへらすこと
- ゴミの削減
- 食べ物を粗末にしない

家で、ペットボトルの分別をしたりしました。また、電気やTVをつけっぱなしにしないことなどの節電を心がけることができ、よかったです。またこれからもゴミの削減や、歩いていける距離は車をつかわず歩いていくなどの小さなことに気を使っていきたいです。

